

久司 留理子 助教

Ruriko kyuuji

修士(保健学)

✉ ruriko.kyuuji@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword

妊産婦、新生児、社会的ハイリスク、看護教育

プロフィール

1996年 公立松任石川中央病院 助産師
2008年 こまつ看護学校 専任教員
2019年 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 保健学専攻 博士前期課程 修了
2022年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 助教
2024年 公立小松大学 大学院サステナブルシステム科学研究科 ヘルスケアシステム科学専攻 博士後期課程 在学中

研究分野

母性看護 / 看護教育

所属学会

日本助産学会、日本母性衛生学会、日本助産師会、日本看護シミュレーションラーニング学会、
日本看護学教育学会、日本看護科学学会、看護実践学会

専門分野・研究分野

妊産婦と子ども、家族を社会全体で支援するシステム作り

少子化の現代社会において生まれてくる子どもは貴重な宝であり、母には一生の中で数回しかない妊娠、分娩、産褥期を楽しく過ごしてほしいと考えます。しかし、核家族化や希薄な人間関係等母子と家族を取り巻く環境は決して優しくはありません。大切な子どもと家族を社会全体で支えていく為に、今子どもと家族を取り巻く環境はどのようになっているのか、必要な支援は何か、支援の為に何が必要かを明らかにして支援を実践していきたいと考えています。

又、看護学生が学生生活に於いて困難や悩みを抱えていないか、いち早く気付いて支援に繋げる仕組みについて研究しています。

研究内容

社会的ハイリスク妊婦の発見と支援を促すシステムの構築

近年の母子保健を取り巻く課題の中で、児童虐待と妊婦の自殺は重大な社会問題です。妊婦の中でも特定妊婦とその予備軍である社会的ハイリスク妊婦を早期に発見し支援に繋げる事でこれらの悲惨な状況を少なく出来るのではないかと考えます。その為には専門職だけでなく一般の人が地域で妊婦と子どもを見守るシステムが構築されることで多くの妊婦と子どもの支援に繋がると考え研究を進めています。

	妊産婦・保護者の状態像の例	関わりの視点	支援内容
一般層	様々な悩みや不安、戸惑いを感じながらも育児を行うことができる層 ➢ 子どもを可愛いと思うが、疲労・病気や夜泣きなどで時には育児負担を感じる ➢ 子どもの発達が遅いのではないかと感じ、不安になる ➢ 自分の時間が持てない、たまには子どもから離れたたいと思う 等	育てる力(セルフケア能力)の維持・向上 問題の発生予防	母子保健・子育て支援、 交流の場に関する情報提供、相談対応
中間層	より密な状況把握と支援・関係者のマネジメントを必要とする層 ➢ 子育てに対して否定的になっている ➢ 子どもを可愛がる気持ちが解らない ➢ 貧困や離婚など家庭環境の問題で子どもに関われない ➢ 非常に強い育児不安がある ➢ 障害や育てにくさを感じる子どもがいる ➢ 母親に精神疾患がある ➢ 母親・保護者に被害歴がある 等	早期発見・早期対応	母子保健・子育て支援、 交流の場に関する情報提供・マネジメント、相談対応(＋経済的な支援) 等 市区町村子ども家庭総合支援拠点等の関係機関による、より密な状況の把握
要介入支援層	虐待対応や予防に向けてより積極的・専門的な支援・介入、見守りを必要とする層 ➢ 若年妊婦、予期せぬ妊娠である ➢ 家庭内でDVが起きている ➢ 子どもを虐待している ➢ 育児放棄をしている 等	子どもの安全確保・ 治療・再発予防	要保護児童対策地域協議会、市区町村子ども家庭総合支援拠点、児童相談所への連絡調整 等

図1. 妊産婦・保護者の状態像別に見た関わりの視点と支援内容の例
出典:厚生労働省 子育て世代包括支援センター業務ガイドライン

妊産婦と子ども、家族の幸せ
のお手伝い

シーズ・地域連携テーマ例

- 地域での母子見守りシステム
- 行政、医療機関、研究機関協働による母子の支援
- 社会的ハイリスク妊婦を認識するシステム

論文

- 第1子妊娠時に離職した妊婦の思いに関する研究、久司留理子、日本母性衛生学会学誌、64 (4) 714-721.2024
- 看護専門学校生に対する“支援ツール”を用いた学校生活支援の実践報告、片山美穂、鈴木由依子、北岡和代、矢口和美、前田朱美、津田裕子、久司留理子、看護実践学会誌、34 (1)、97-105、2022. 3

講演・口頭発表等

- 令和6年能登半島地震における、避難所での運動支援の実践報告、久司留理子、竹井早葉子、山本保、岡部真美、第43回日本臨床運動療法学会学術集会、2024.9
- 社会的ハイリスク妊婦を支援する専門職者の認識の特徴、久司留理子、第7回日本産前産後ケア子育て支援学会、2023. 10
- 社会的ハイリスク妊婦を支援する、助産師と保育士の認識、久司留理子、坂本めぐみ、山田貴代、第63回日本母性衛生学会学術集会、2022. 9
- 第1子妊娠時に離職した妊婦の思いに関する研究、久司留理子、田淵紀子、第61回日本母性衛生学会学術集会、2020. 10
- 学生支援ツール「自己コンディション表」の効果(その2)-学生を対象とした面接調査から-、片山美穂、鈴木由依子、前田朱美、久司留理子、矢口和美、津山玲奈、日本看護科学学会第39回学術集会、2019. 11
- 看護師養成所における異学年交流活動を通しての教育効果、矢口和美、久司留理子、大井干都世、前田朱美、片山美穂、津田裕子、津山玲奈、鈴木由依子、飛田敦子、看護実践学会、第13回学術集会、2019. 9

競争的資金等の研究課題

- 一般の人が地域で妊婦と子どもを見守る、地域母子見守りシステムの構築、科学研究費助成事業(基盤研究C) 2021-2024

社会貢献活動

- 令和6年能登半島地震 仮設住宅での運動支援ボランティア



図2. 令和6年能登半島地震雨泥出しボランティア、仮設住宅での運動支援